

多摩都市モノレール株式会社

経営改革プラン改訂版（2019年度）

# 1. 経営情報

## 1 基礎情報

平成30年8月1日現在

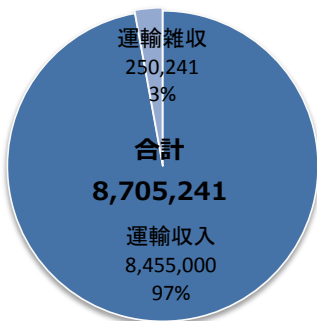
団体名	多摩都市モノレール株式会社			
所管局	都市整備局			
設立年月日	昭和61年4月8日			
設立後の主な沿革	平成2年11月 第Ⅰ期工事着手(立川北～上北台) 平成3年11月 第Ⅱ期工事着手(多摩センター～立川北) 平成10年11月 第Ⅰ期区間開業 平成12年1月 第Ⅱ期区間開業 平成16年8月 運賃改定 平成26年4月 運賃改定			
所在地	東京都立川市泉町1078-92			
発行株式数	1,008,780	株	資本金	100,000 千円
都持株数	805,704	株		
都持株比率	79.9	%		
他の出資団体の持株数	沿線5市		33,060	株
	民鉄3社		89,760	株
	銀行等13団体		80,256	株
	その他 _____ 団体			株
その他資産	・運営基地(立川市泉町1078-92)			等
役職員数				
常勤役員数	3	人	(うち都派遣職員 0 人、都退職者 2 人)	
常勤職員数	215	人	(うち都派遣職員 10 人、都退職者 1 人)	
非常勤職員数	13	人		
団体の使命	多摩をつなぐモノレール事業者として、安全を最優先にお客様から信頼され喜ばれる交通サービスを実現し、多摩地域の魅力と活力の向上に貢献すること。			
事業概要	多摩都市モノレールの運行			

主要事業全体像 (平成29年度決算) (単位:千円)	区 分	売上高	構成割合	営業費用	構成割合
	事業全体	8,705,241	100%	6,770,723	100%
	旅客運送事業	8,455,000	97.1%	6,656,292	98.3%
	付帯事業	250,241	2.9%	114,431	1.7%

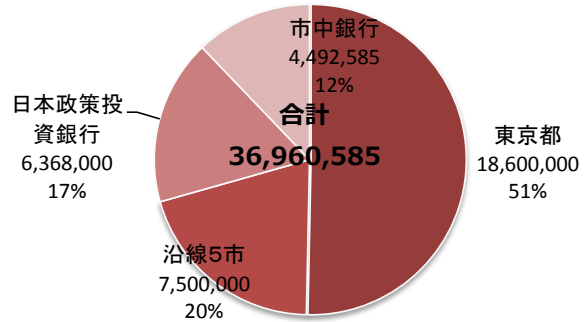
平成29年度 決算情報

※計数処理の関係で合計が合わない場合があります。

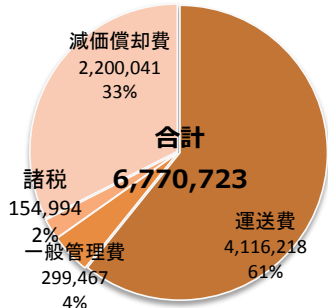
営業収益内訳(単位:千円)



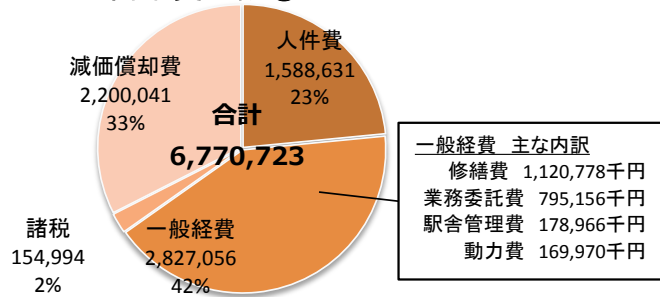
長期借入金内訳(単位:千円)



営業費内訳①(単位:千円)



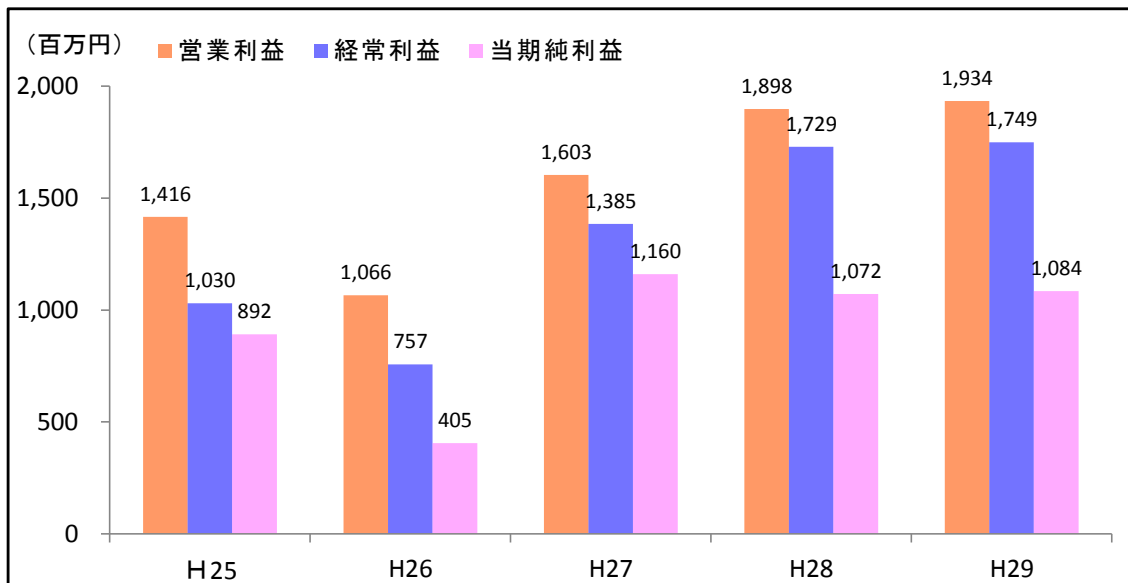
営業費内訳②(単位:千円)



一般経費 主な内訳

修繕費	1,120,778千円
業務委託費	795,156千円
駅舎管理費	178,966千円
動力費	169,970千円

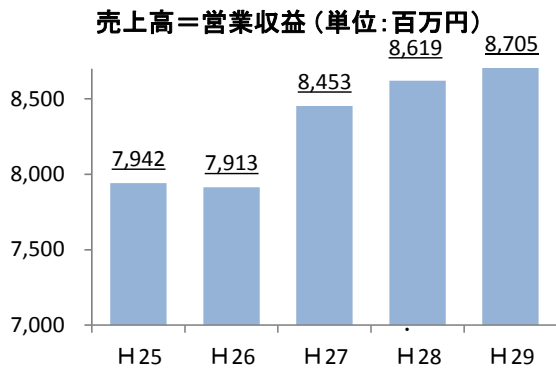
営業利益・経常利益・当期純利益の推移



## 2 平成25年度以降の事業実施状況

### 《「売上高」、「都財政受入額」、「職員数」の推移からの分析》

#### 2-1 売上高から見る事業動向

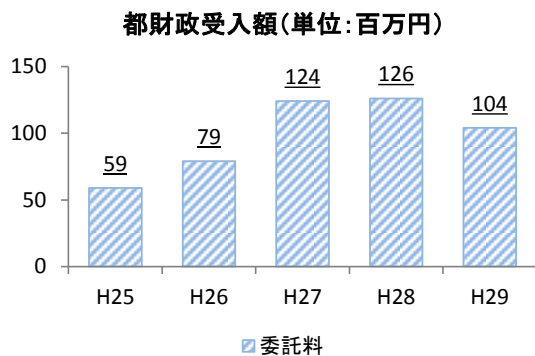


・消費増税の影響でH26は前期比マイナスであるが、沿線開発の進展や雇用環境の改善等により営業収益は全体的に増加傾向。

・特に、駅直結の大規模商業施設がH27年12月に開業したことにより、H27は前期比6.8%増、H28は2.0%増、H29は1.0%増。

・H30以降も多摩地域の人口増と同程度の伸び率で推移するものと想定している。

#### 2-2 都財政受入額の推移から見る都施策との連動性(参考)



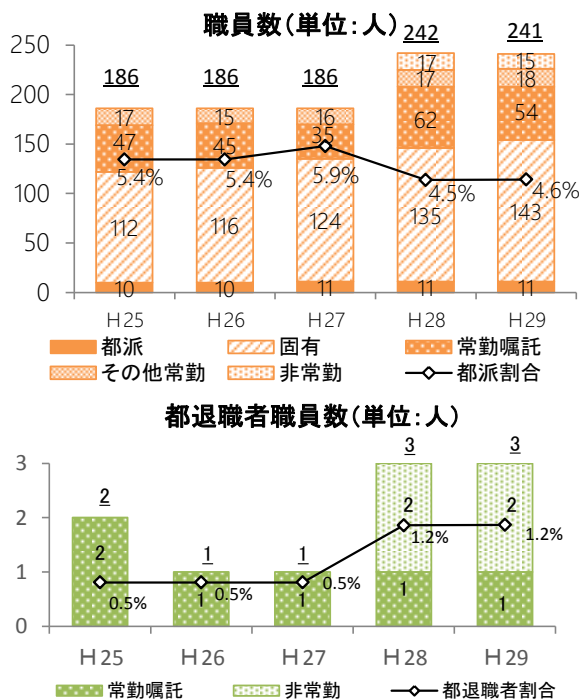
・当社における都財政受入額は、すべて都所有のインフラ部の大規模修繕工事の委託料である。

・都受託工事は再委託するため、損益計算書(営業外収益)上では、受託手数料(受託工事の数%)のみが計上される。

・毎年の受入額は、東京都策定の大規模修繕計画に基づき、当社と都が協定を結び、決定される。

・施設の更新時期を迎えているため、財政受入額は増加傾向。

#### 2-3 職員数の推移から見る経営状況



・H28から社員定数に契約社員(常勤嘱託を含む)と再雇用・臨時社員(非常勤を含む)を含めることとなり、名目上は大幅増であるが、実質的には微増。

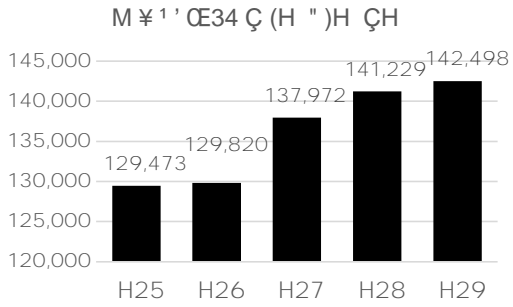
・都派は、都との連絡調整に携わる役割、及び、施設設備の修繕・更新に係る技術要員として在籍しており、過去5年間で人数はほぼ変化なし。固有社員は微増しているため、都派割合は減少傾向。

・都退職者は、大規模修繕等に係る技術要員として、1～3人で推移している。



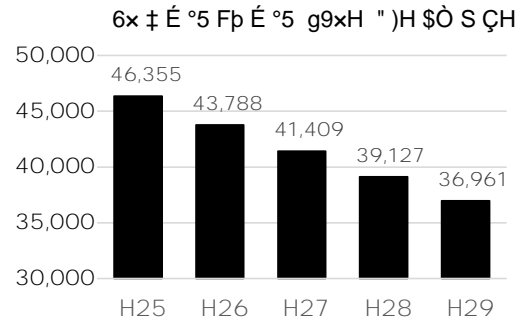
zFú ! B Ý

! B Ý D



G%¥ ' ' Œ34 Ç (Fÿ ")z6ä\$ÍFp4 Ž'¼FûG G Q  
 •F¹  
 G%¥ÍFp4" w6ëG") G °3ûFøFçFöF, °3û < } öFp ¥  
 VFû2 "©FçFöFÔG F¹

! B Ý D



H É °5 )r8 H  
 ¼ ¿4"H18,60\$Ò S Ç ")z wH 7,50\$Ò S Ç  
 ¥ •;Ç žž(5ÿ/œH 48,50\$Ò S Ç  
 FíFp Ú w p5ÿ/œH18,50\$Ò S Ç  
 H É °5 g9xH H2° Ø Ž#~H H  
 ¼ ¿4"H18,60\$Ò S Ç ")z wH 7,50\$Ò S Ç  
 ¥ •;Ç žž(5ÿ/œH 6,36\$Ò S Ç  
 FíFp Ú w p5ÿ/œH1,49\$Ò S Ç  
 ) " ŠFûG G 4 3z p °¼Fp Q •F, "á\$xFú0¿  
 žž("¼FûG G F,3É í0£#iFùFÚG %T Fû3É íG"/œFóf  
 FÔG F¹ ö íFp ° ØFÛ3ÆFöFÔFöFÚG 25° B" G"  
 GbGŠG=FûF, ° ØFÔFiG Fp3É í8 Fÿ ö aFçFöFÔG